



立志（りっし）

高砂市立荒井中学校・学校だより
令和5年12月22日（金）No.14

【学校教育目標】「志を持ち、その実現に努力し、だれもが安心できる学校づくり」

高砂市立荒井中学校長 橋本 尚人

いよいよ待ちに待った冬休みが始まります。明日から1月8日（月）まで17日間の冬休みが始まります。年末年始は、日本独自の文化に触れる良い機会です。大掃除、餅つき、年越しそば、除夜の鐘、お年玉、初詣、おせち料理、書き初め、七草がゆ…一つでも多くの日本の文化を体験してください。生徒の皆さんには、クラスルームを通じて、校長からの3つお願いを「冬休みのしおり（スプレッドシート）」に記載しています。①「体調管理」②「2024年の夢や目標を立てる」③「心のリラックス」について書いていますので、ぜひ、目を通して下さい。

さて、今年の流行語大賞は「アレ」でしたね。この流行語大賞にまつわる著名な言語学者の金田一秀穂教授^{きん だいちひで ほ}のエッセイを最近読みました。「そうか!なるほどなあ。」!と感じたので、少し長いですがここで紹介します。

先日、インターネット上に“カウコン”という言葉が目に留まりました。何だろう?と思ったら“カウントダウンコンサート”の略でした。」そうした短縮言葉を、若い人たちがよく使いますが、知っている者同士なら言葉を短くしても通じるわけで、“セカオワ（SEKAI NO OWARI）”もそうですね。こうした短縮言葉は今の若い人だけが使うわけではありません。「うな井」「ビフテキ」もそうです。（略）日本語は音が長い言葉が多いため、短くすることは昔からよくあって、特別なことではないのです。

わかっている者同士で通じる言葉を楽しんだ良い例があります。阪神タイガースの岡田監督が優勝を「アレ」と表現して、選手やファンの間に広がりました。「アレ」で通じることで仲間意識がはぐくまれますね。（略）仲間内ならLINEで「了解」を「りよ」でも「り」だけでも構わない。ただ、心が通いあう本当のコミュニケーションとなるとウェブ上の省略語だけでは難しいものです。相手と言葉を交わす時には、互いに「気配（けはい）」というものを感じながら話すことが大事だからです。オンラインのZoomなどは便利でいいですが、無味乾燥（むみかんそう）な会話になりがちです。コミュニケーションには無駄（むだ）話というものも時には必要で、そこには相手の「気配」が存在します。相手の「気配」の例として、老夫婦を想像してみてください。何も言わないでも時々「ふふふ」とか「あっ」とか、それだけでなんとなく意思疎通（いしそつう）ができています。（略）言葉は約5万年前にでき、人類はそれ以前には鳴き声でコミュニケーションを取っていたと言われます。鳴き声で人は生活できていたのです。そう考えると、言葉とは巷間（こうかん＝世間）で言われるほど重要なものではない。（略）自分の思いを、本当に相手に通じさせる言葉とは、じつは僕らが思わず口に出してしまう言葉です。例えばまだ言葉の意味が理解できない赤ちゃんに、お母さんが話しかける「お腹すいた?」という言葉。そういう言葉が本当に通じる言葉なのだと思います。かわいがっている犬や猫に話しかける言葉もそうです。本音というのとはまた別で、相手に通じさせたい、思わず言ってしまう、という誠実な思い。コミュニケーションのための言葉については、そこに戻って考えてみたらいいのかもしれないですね。（略）日本語の豊かな表現力、僕はそれをよく「画素数の高い言葉」と呼ぶのですが、そういう言葉を知っておくといいと思います。普段は「り」で済ませてもいいけど、例えば「かしこまりました」「承（うけたまわ）っておきます」「かたじけない」とか、こうしたいろいろな言葉を知って使い分けられると、細かなニュアンスが伝えられるし、心のひだまでわかりあえるようなことがあるかもしれない。日本語の表現は多彩で豊かです。古典を読むと、昔の表現なのに新しく感じられる言葉に出会うこともあります。僕たちの言語生活とは狭い井戸の中にいるのと同じで、井戸の中に入ってきた“語彙（ごい）”いしか使うことができません。でも、その狭い井戸をいろいろな方法で広げていくこともできます。さまざまな本を読み、いろいろな人に会うこと。それはとても大事で、特に若い人たちはそんなふうに自分たちの言葉の世界を広げられたら世界も広くなると思います。（略）「若い人は語彙（ごい）が貧弱」と言われますが、そんなことはない。若い人は、僕たちが知らない言葉をたくさん知っています。そこにさまざまな経験を積んで日本語の世界をさらに豊に広げていけばいいのです。あなたの日本語、大丈夫ですよ!



『倫風』1月号～「本当に必要なのは、話す時の誠実さ」より抜粋～

言語学者 金田一秀穂 杏林大学名誉教授

3年生の「今」に送る名言

年末が近づき、“仕方なく”大掃除を始めました。あまり立ち入らないかつての子ども部屋の掃除をしていると、本棚に並べられた漫画が目に残りました。懐かしかったです。「スラムダンク」と「宇宙兄弟」「のだめカンタービレ」「ドラえもん」「タッチ」「銀河鉄道999」「MAJOR」……皆さんにはあまりなじみのない漫画かもしれませんが、若い頃、むさぼるように読んでいました。気がつくやうに大掃除もせずに、夕日が差し込み始めた部屋で、夢中にページをめくっていました。不思議なもので、漫画を読み返すと、学生の頃の気持ちが蘇（よみがえ）ってくるのです。たかが漫画、漫画なんて読んで意味ないって！と言われながらも読み続けた「名作」の数々。そんな漫画のキャラが繰り出す台詞（せりふ）の数々。入試を間近に控える3年生！”余裕があれば“読んでみて！



俺の敵はだいたい俺です。自分の「宇宙へ行きたい」という夢をさんざん邪魔して足を引っ張り続けたのは結局、俺でした。他に敵はいません。

(宇宙兄弟 南波六太)

他人の世界をうらやんでいても仕方ない
自分の世界は自分で変えなければ——
(のだめカンタービレ 千秋真一)

敬遠は一度覚えるとクセになりそうで……。
(タッチ 上杉達也)

自分で選んでおいてあとでグチや不平を言うのは一番卑怯なやつだと私は思うのさ。
(銀河鉄道999 ラセン)

「俺に今できることをやるよ！ やってやる！」
(スラムダンク 桜木花道)

いちばんいけないのは自分なんかだめだと思い込むことだよ。
(ドラえもん 野比のび太)



今日できることを今日やらないやつは、明日になったってできやねえんだよ。
(MAJOR 茂野吾郎)

最後に、日本のホームラン王といえは本塁打 868 本 <NPB 最多記録>保持者の王貞治(おう さだはる)の名言を。

「努力」は必ず報われる。もし報われない「努力」があるのならば、それはまだ「努力」とは呼べない。(王 貞治)

保護者の皆様へ

■学校評価アンケートにご協力ありがとうございました。

ペーパーレスを進めるためオンラインによるアンケートにより実施しました。お忙しい中、多くのご回答をいただきありがとうございました。今後の荒井中学校の学校運営に貴重な資料となりました。3学期には、分析をした結果を公開する予定です。

■CBT for School TOFAS(トーフラス)第12回 実施のお知らせ

12月8日にスクリーンでも案内していますが、12月11日(月)～1月31日(水)の期間中、TOFAS 第12回を受検することができます。今回は小学校から中学校3年生までの範囲となります。上の学年のレベルにチャレンジできます。生徒は各自のタブレットの GoogleChrome ブックマークから簡単にアクセスできます。ぜひ、挑戦するよう勧めてください。(※学校の成績には反映されませんが、個人の基礎学力の定着度合を把握することができます。)

■令和6年度からの新制服導入について

現在の小学6年生が4月に入学する時点から、ブレザータイプの制服が追加されます。スラックス、スカートに加えてキュロットも加わりました。来年の新2年生、新3年生も購入ならびに着用することができます。その際、1月21日(日)までに各制服販売店で採寸をお願いします。もちろん、新入生を含めて現行の学生服・セーラー服の着用も可能です。また、ブレザーの下に着る白のシャツは、一般的な量販店で購入されたもので構いません。なお、販売店には「推奨品」が置いてありますが、「指定品」ではありませんのでご注意ください。

■学校閉庁日は、12月29日(金)～令和6年1月3日(水)です。